



望洋荘便り



第 4 4 号
平成 19 年
7 月 発行

昔も今も、これからも変わらない親子関係

― 祖父母を大切にしましょう ―

社会福祉法人りんさく福祉会

理事長 須田 滉

どのように時代が変わったといっても、子供が親をバカにしたり、親に対していたずらに反抗したりしていいはずがありません。親を敬い、親を大事にするということが、子供としての人間らしいあり方でなければならぬことは、今も昔も変わらない真理です。

「三つ児の魂百まで」という言葉のとおり、こんなことは幼い時代に心の中に培い育てられていなければならないことなのです。親の義務でもあるわけです。子供が大きくなって親を見捨てたり、バカにしたりする青年にならないためにも、毎日の自分の生活を人間味豊かなものにし、人間味を奪ってしまいうような社会に目をむけ、何とか人間を取り戻す社会にしていかなければなりません。それが親の責任であり、生涯教育が叫ばれている現代の課題でもあると思われます。

現代は、あらゆる社会に感謝の気持ちが薄らいでいるように思われます。「ありがとう」と、素直に自分の心を表すことができていないのです。自分の権利や自分の力だけを主張し、他人の働きや、他人から受けた事柄に対して、謙虚に感謝することを忘れていきます。

子供には、親に対する感謝の気持ちを持たせるようにしましょう。親の

心遣いに対して、それを理解させたうえでの感謝でなければなりません。祖父母に対しても、感謝の気持ちを育てるということです。

祖父母とは、たとえ家が別々であっても、家族の一員として子供の世話をしてくれるものです。そのことを通じて、祖父母への感謝の気持ちを育てるようになります。そればかりでなく、祖父母は、長い間苦労して、「現在の家族を築いてきた功労者」なのです。我が家の歴史とか祖父母の苦労話を「敬老の日」や「誕生日」等に親子が親しく語り合い、老人をなぜ大切にしなければならぬのか等話し合っては如何でしょうか。

ともすると、老人をのけものにしたり、いやがったりする傾向の強い現代ですが、そのことはやがては、お母さん、お父さんの上にも降りかかってくる問題であることをじっくり考えてみる必要があるのです。祖父母は、家庭の中で一番世の中のことに ついての経験を多く持っている人なのです。そのような経験者としての祖父母に対して、尊敬の気持ちを私たちも持たなければなりません。「望洋荘」の職員は入所者様にとつては家族の一員であり自分たちの祖父母、或いは両親として尊敬し、経験豊かな話を聞きながらお世話をさせて頂くという気持ちで接して下さい。



今年裏山の土手に植えた、かぼちゃが実り、収穫する事が出来ました。初めての試みでしたが、中々の出来でした。煮て食べた所、栗の様にほくほくしていて、ものすごく美味しかったです。

「スイカ割り」

夏だ！スイカが美味しい季節になりました。今年もまた、各ユニットでスイカ割りが行なわれました。元気に竹刀を振り上げ目標に向かって一撃・・・スイカも手強くと割れず奮闘するも、最後は力尽き見事にパッキリと割れ、美味しそうな赤い実を覗かせました。後は入居者皆様で美味しく頂きました。



「福祉施設体験学習」小名浜二中

七月一日（火）午前九時より小名浜二中の二年生の生徒男女十五名が福祉施設体験学習のため、来荘されました。三名毎に五グループに分かれ、各ユニットで入居者様と交流を深めておりました。また、全員でカラオケを披露してみんなを楽しませて頂きました。

お昼休みの時間には、施設の入居者様と同じ食事を頂く体験もあり、ミキサー食・超刻み食・刻み食・粥などを実際に食べてもらいました。生徒達から、貴重な体験が出来たと好評でした。小名浜二中の皆様、一日お疲れ様でした。



「いわき寄席」 出演者の色紙集から・

「いわき寄席」出演者の直筆の色紙を紹介致します。

初音家 左橋師匠の作品です。

○第三四回記念いわき寄席 平成七年四月二七日

(演目) 家具舞、青菜、棒鱈

○第七〇回記念いわき寄席 平成十三年九月十九日

(演目) 時そば、品川心中、試し酒、ものまね

○第七三回記念いわき寄席 平成十四年三月七日

(演目) 粗忽の釘、そば清、当て踊り

春雨や 雷蔵師匠の作品です。

○第六回記念いわき寄席 平成二年六月二〇日

(演目) たらちね、味噌蔵、新寿限無

○第二五回記念いわき寄席 平成五年一〇月十八日

(演目) 二十四孝、木乃伊取り、蛙茶番

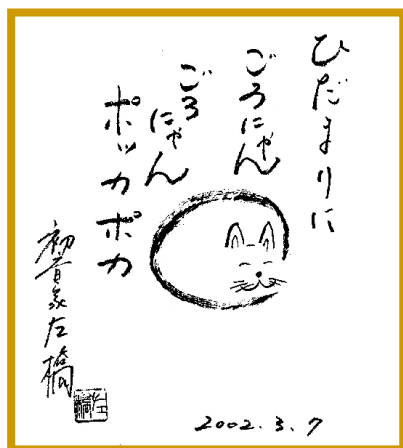
○第六三回記念いわき寄席 平成十二年七月二四日

(演目) 寝床、八問答、禁酒番屋

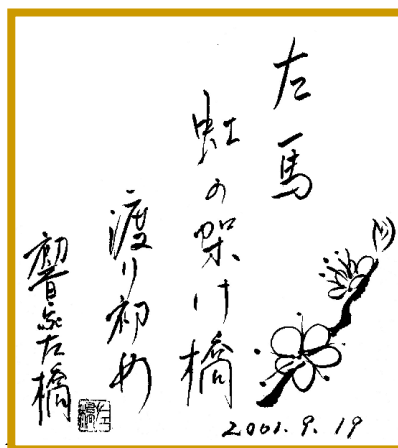
三遊亭 笑遊師匠の作品です。

○第七一回記念いわき寄席 平成十三年十一月八日

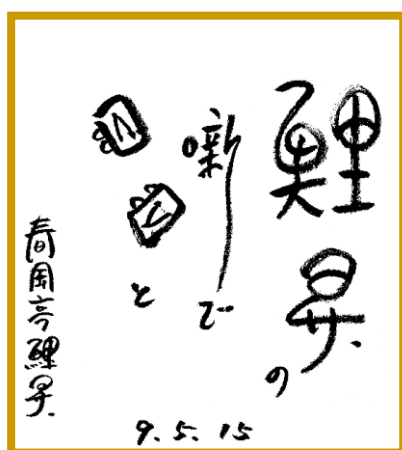
(演目) がまの湯



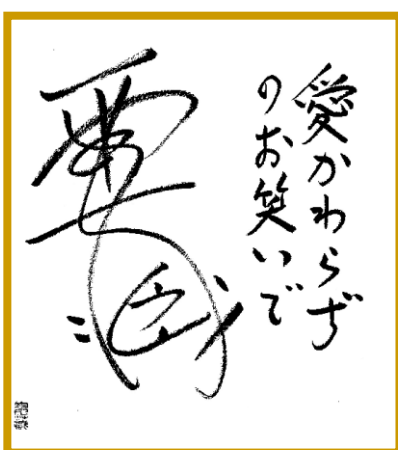
初音家 左橋 師匠
(第73回いわき寄席 H14.3.7)
ひだまりに
ごろにゃん ごろにゃん



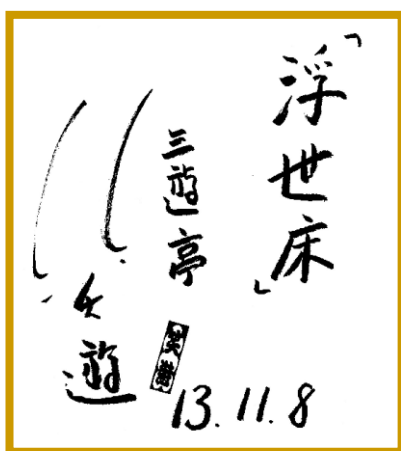
初音家 左橋 師匠
(第70回いわき寄席 H13.9.19)
左馬
虹の架け橋
渡り初め



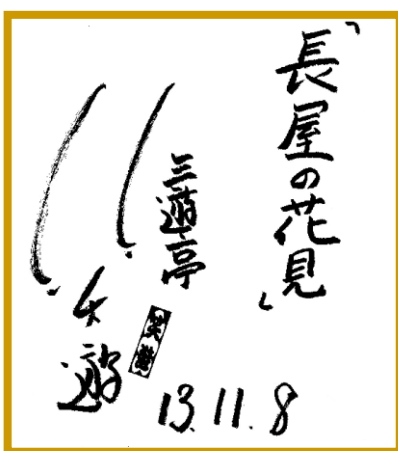
春風亭 鯉昇 師匠
(第46回いわき寄席 H9.5.15)
鯉昇の 嘶で
下駄(ゲラ)下駄(ゲラ)と



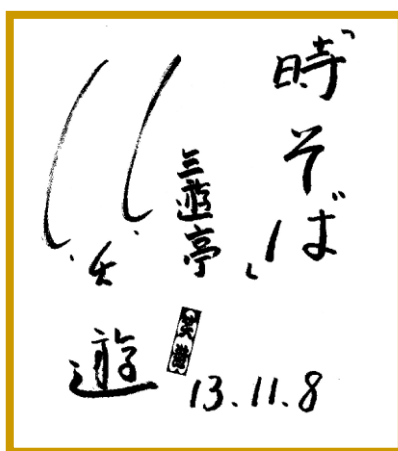
春雨や 雷蔵 師匠
(第25回いわき寄席 H5.10.18)
愛かわらずの
お笑いで



三遊亭 笑遊 師匠
(第71回いわき寄席 H13.11.8)
浮世床



三遊亭 笑遊 師匠
(第71回いわき寄席 H13.11.8)
長屋の花見



三遊亭 笑遊 師匠
(第71回いわき寄席 H13.11.8)
時そば

「望洋荘家族会」結成総会

平成十九年七月八日（日）午後二時より「望洋荘多目的ホール」にて、「望洋荘家族会」結成総会が行なわれました。席上、望洋荘家族会準備委員会の小野委員長より、望洋荘家族会の目的や役割など家族会の必要性をご家族の皆様の説明され、家族会結成に対して決議が行なわれ、ご出席者からの賛同を受け「望洋荘家族会」が発足されました。その後、第一回望洋荘家族会総会へと移り、望洋荘家族会会則、役員の選出などが行なわれました。事務局より家族会としての平成十九年度の事業計画、予算の説明があり、今年度の「望洋荘家族会」としての活動内容が決まりました。

平成十九年度「望洋荘家族会」初代役員は左記の通りです。

会長	小野 孝太郎 様
副会長	田村 義輝 様
“	中村 泰義 様
会計	伊藤 美子 様
“	小林 茂 様
監事	熊田 清美 様
“	東海林 征子 様
理事	赤間 修 様
“	猪狩 トミ子 様
“	平井 美代子 様

以上十名の皆様が今年度（平成十九年七月一日より平成二十年三月三十一日）望洋荘家族会の為に御尽力頂ける事になりました。よろしくお願い致します。



八月の行事予定

八月十九日（日）午後七時、正面玄関前
全ユニット「花火大会」
八月十一日（土）午前二時、ホール・バルコニー
永崎ユニット「夏祭り」金魚すくい等など
八月八日（水）午前10時、平商店街
薄磯ユニット「七夕見学」
八月十八日（土）午後四時、沼ノ内第一公園
豊間ユニット「盆踊り見学」
八月六日（月）午前10時、平商店街
豊間ユニット「七夕見学」

【八月のお誕生会予定】

八月一日（水）午前10時、
四倉 佐藤ちる子様（七九歳）誕生会
八月五日（水）午前10時、
四倉 會田ソメヨ様（九三歳）誕生会
八月六日（月）午前10時、
豊間 後藤スイ子様（九三歳）誕生会
八月二二日（水）午後二時30分、
勿来 石村 留吉様（九八歳）誕生会
八月二五日（土）午後三時、
豊間 高橋 ノブ様（八五歳）誕生会
八月二九日（水）午後三時、
永崎 酒井 孝子様（七九歳）誕生会

編集後記

『望洋荘』便り
平成十九年七月三十一日発行
発行所 いわき市 平豊間字合磯三十九番地

社会福祉法人 りんさく福祉会

介護老人福祉施設 望洋荘

電話 (0246) 55-7373
FAX (0246) 55-7255